

## 仕様

型番	NL-202JR	NL-302JR
定格	100V-470W 50/60Hz	100V-770W 50/60Hz
溶断寸法	長さ200mm	長さ300mm
シール時間	0.3~1.0sec.	0.3~1.0sec.
製品寸法(約)	奥行325×幅85×高さ230mm	奥行455×幅92×高さ280mm
質量(約) <sup>※1</sup>	2.4kg	3.8kg
電源コード(約)	1.8m	1.8m
付属品	ヒーター 2本 フッ素樹脂絶縁シート 2枚 フッ素樹脂絶縁粘着テープ 2枚 シリコン粘着テープ 1枚	

※本書に掲載のイラストと実際の製品には若干の相違がありますので、あらかじめご了承ください。 ※1 質量に電源コードの重さは含まれません。

## アフターサービスについて

- 使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントから引き抜いて、使用を中止し、速やかにお求めになった販売店またはお客様ご相談センターへご連絡ください。  
ご連絡されるときは、お買い上げの時期および器具の型番をお知らせください。
- 補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。  
注) 性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- 取扱説明書は大切に保管してください。  
※紙の冊子での再発行は致しませんので、紛失や破損された際は、当社HP(ページ内右下に記載)よりダウンロードしてご覧ください。
- 必ず定期点検を実施してください。  
使用頻度30,000回~50,000回または1年に1度を目安としてください。

## ■ 交換用サプライ品

製品型番	ヒーター 10本入	フッ素樹脂 絶縁シート 10枚入	フッ素樹脂 絶縁粘着テープ 定寸 5枚入	シリコン 粘着テープ 10枚入	消耗品交換セット		圧着 シリコンゴム 1本入
					ヒーター フッ素樹脂絶縁シート フッ素樹脂絶縁粘着テープ シリコン粘着テープ	各 2枚 1枚	
NL-202JR	NPH-202R	NPT-202	NPN-202	NPK-201JR	NPS-202JR		NPG-202
NL-302JR	NPH-302R	NPT-302	NPN-302	NPK-301JR	NPS-302JR		NPG-302

※お求めは弊社公式オンラインストアまたは、お買い上げの販売店へお申し付けください。

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9 受付時間: 月~金の9時~12時/13時~17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く
TEL: 048-931-3110	

## 株式会社 石崎電機製作所

<b>本社</b> 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15	<b>東日本営業所</b> 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031	<b>西日本営業所</b> 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893	<b>公式ホームページ</b>  <a href="http://www.sure-ishizaki.co.jp">www.sure-ishizaki.co.jp</a>
------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

NL-JR\_T\_JG\_2403\_Rev.C (NL-3923-01)

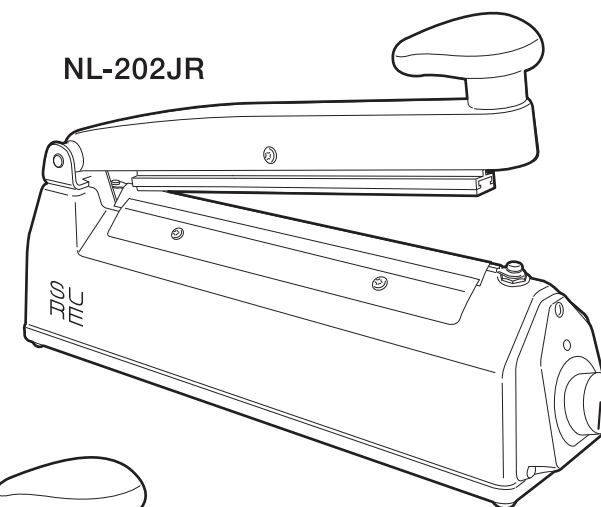
ワンランク上のシーラー  
NL-202JR/302JR

卓上シーラー溶断タイプ

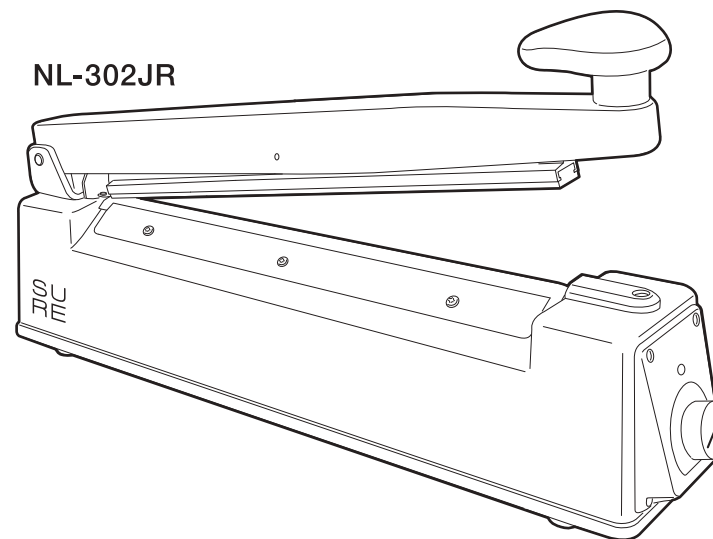
## 取扱説明書

このたびは卓上シーラー溶断タイプをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

NL-202JR



NL-302JR



01~03 安全上のご注意

04 各部の名称

05 ご使用方法

06~10 保守点検

10 故障かな?と思ったら

裏表紙 仕様

裏表紙 アフターサービスについて

# 安全上のご注意(その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。


## 警告


この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

## 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。  
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 **〇は、禁止(してはいけないこと)を示します。**  
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 **●は、強制(必ずすること)を示します。**  
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

## 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。また改造はしない。  
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。  
やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

火薬・揮発性引火物、燃えやすい物のあるところでは使用しない。  
爆発、発火の原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。  
感電の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。  
・電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。  
・コゲくさい臭いがする。  
・電源コードや差込プラグが異常に熱い。  
などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。



必ず行う

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。  
ショート、感電の原因になります。



禁止

100Vのコンセントを単独で使う。  
他の機器と併用した分岐コンセントは発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

差込プラグは根元まで確実に差し込む。  
差込が不完全ですと感電や発火の原因になります。



必ず行う

## 注意

本器に定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しない。  
取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、誤作動、発火の原因になります。



必ず行う

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。  
感電、やけどの原因になります。



禁止

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。  
やけど、落下によるけがの原因になります。



禁止

使用中や使用直後はシール部に触れない。  
シール部は高温のため、やけどの原因になります。



接触禁止

交流100V以外では使用しない。  
火災、感電、故障の原因になります。  
※本器は日本国内、AC100V専用です。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。  
感電、ショート、故障の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。  
コードの異常発熱や破損により火災、感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

圧着レバーとシール部の間に腕や指を挟まない。  
やけど、けがの原因になります。



禁止

ヒーターやフッ素樹脂絶縁シートの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。  
感電、やけどの原因になります。



プラグを抜く

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。  
発火の原因になります。



禁止

## お願い

シール作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い設定の確認をしてください。  
タイマーの通電時間、溶着具合を確認してください。材質、厚さ、重ね枚数によってはシールできない場合もあります。

フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、シリコンゴムは傷んだまま使用しないでください。  
ヒーターが断線したり、シールが不安定になりきれいにできなくなります。

圧着レバーのフッ素樹脂粘着テープ面、シール面はつねに清潔にしてください。  
ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるとききれいにシールができません。

連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。  
内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。各製品の寿命も著しく低下しますので本体が冷めるまで休ませるようにしてください。

## 安全上のご注意(その2)

傷んだヒーターは取り付けしないでください。

折れたり欠けたりしている場合は、本器の故障や断線などの原因になります。

ヒーター、フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。

ご使用前に必ず確認し、消耗している場合は新品と交換してください。

## 注意事項

使用開始前に必ず設置場所、本体各部の点検を行い、最後に通電テストをして、異常がない事を確認してください。万が一異状がある場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、又は弊社「お客様相談センター」にご連絡ください。

### 使用上のポイント

- 通電時間は材質、厚さなどによりタイマーで設定してください。  
※タイマーの目盛りは、秒目盛りではありませんのでご注意ください。
- 作業の際、シールランプが消えた後、約1秒間圧着レバーを押し下げた状態で保持し、冷却してください。  
冷却時間がない、又は少ないとシールがきれいに仕上がりにません。
- 本器のシール面と圧着面は常にきれいな状態にしてください。  
汚れているとシール面がきれいに仕上がりにません。
- 本器は瞬間的に電流を流し、ヒーターを発熱させビニールフィルムを熱溶断する機器です。



**注意** ヒーターは各機種に合わせた専用設計になっていますので、入れ替えての使用はできません。巻末の交換用別売品の表に従い、メンテナンス時の交換の際は、適切な部品をご使用ください。

### 使用するフィルムについて

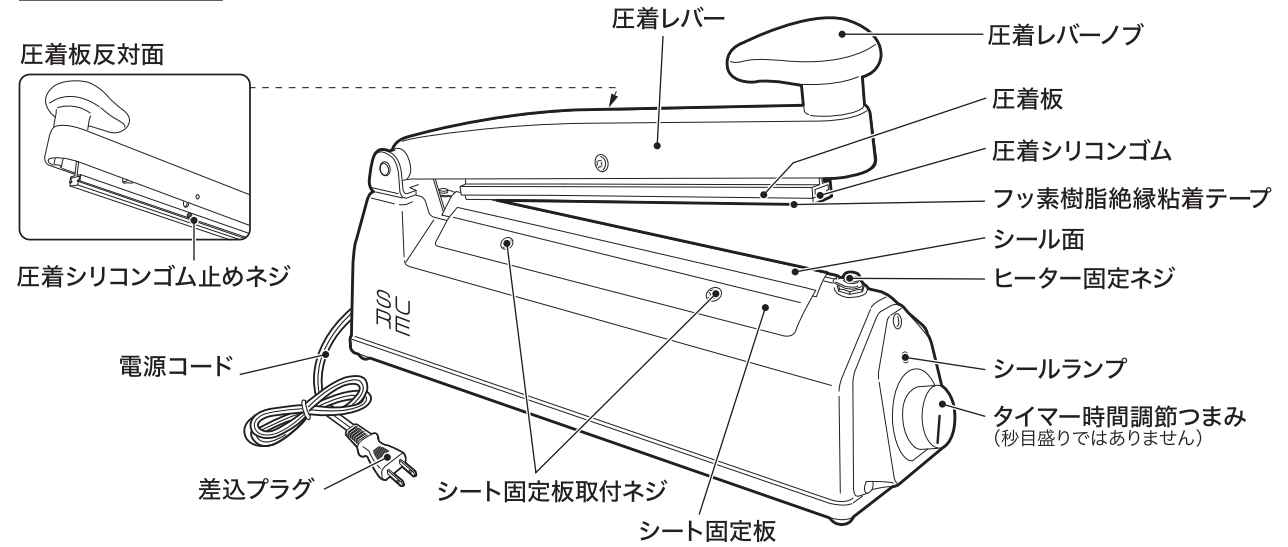
溶断可能なビニールフィルムの厚さは下記のとおりです。

機種名	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)
NL-202JR	0.7mm以下	0.4mm以下
NL-302JR	0.8mm以下	0.5mm以下

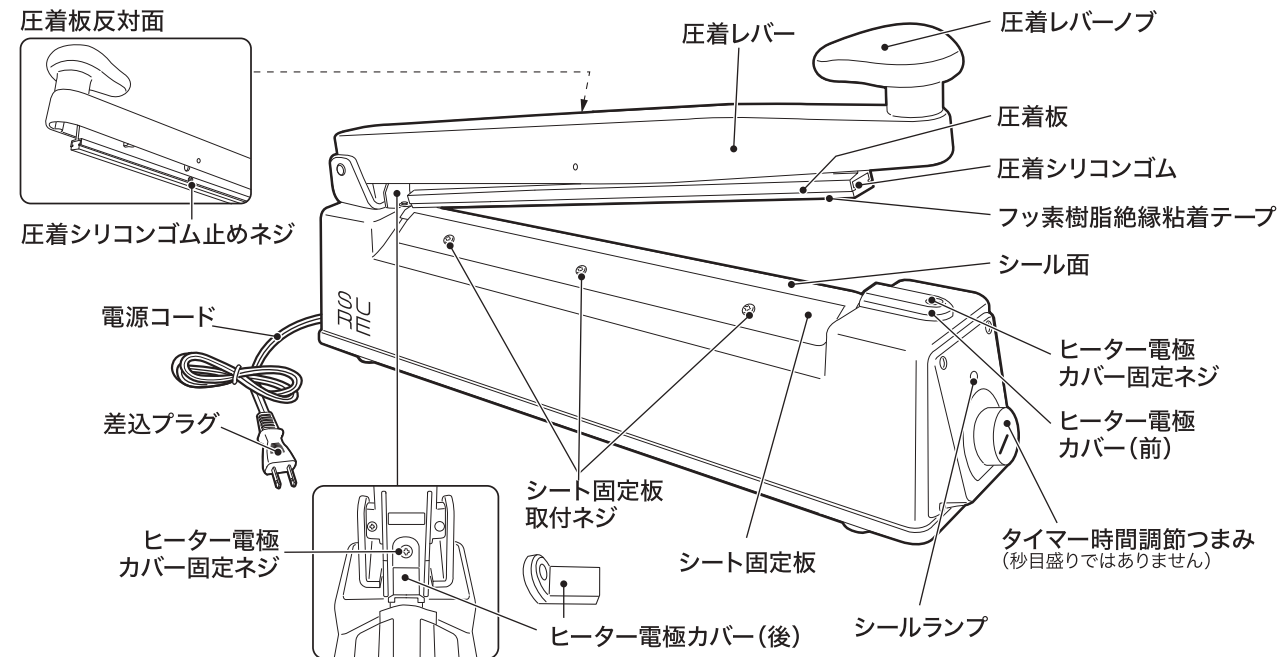
※注意: 数値は2枚以上かさね合わせた合計の厚さです。

## 各部の名称

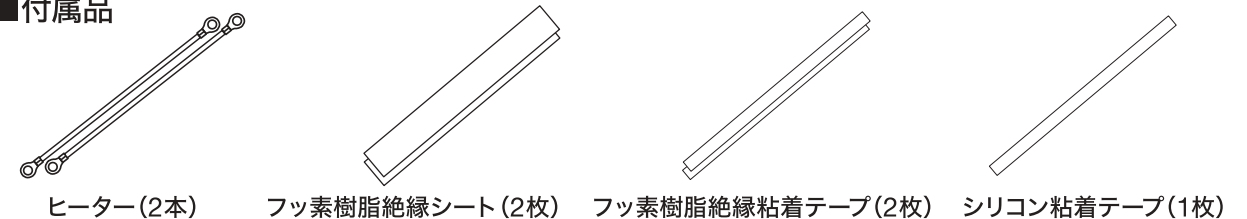
### NL-202JR



### NL-302JR



### ■付属品



# ご使用方法

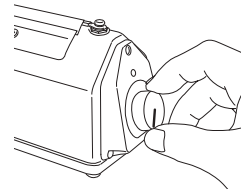
01. 本器を安定したテーブルなどの上に置く

02. 差込プラグをコンセントに差し込む

差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。

03. シール時間を設定する

シール調節つまみでシール時間を設定します。  
※シールする袋や材質などに合わせてください。  
※タイマー目盛りは、秒目盛りではありません。



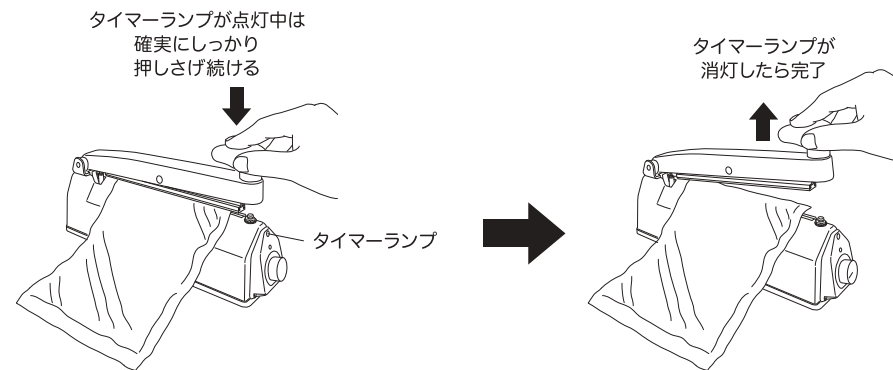
シール時間を設定する

04. シールする

袋のシールする部分を本器のシール面に置き、圧着レバーを押し下げます。  
カチッと音がして、タイマーランプが赤色に点灯します。

05. シールを完了する

タイマーランプが消灯したらシール完了です。  
※タイマーランプが点灯している間は、レバーをしっかりと押し下げてください。  
途中でレバーを上げてしまうと、しっかりシールできません。



06. 次のシールまで間隔を空ける

袋を取り出したら、次のシールまで20秒以上間隔を空けてから行ってください。  
一定時間以上、間隔を空けないと、シールがきれいにできません。

# 保守点検(その1)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。



※付属品や消耗品を交換する際は、必ず左図の順番通りに全て取り付けてください。



必ず行う

フッ素樹脂絶縁シート、ヒーター、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、シリコン粘着テープは、必ず『純正品』を使用してください。

純正品以外のものを使用すると、「正しくシールできない」、「機器の早期故障」などの原因になります。

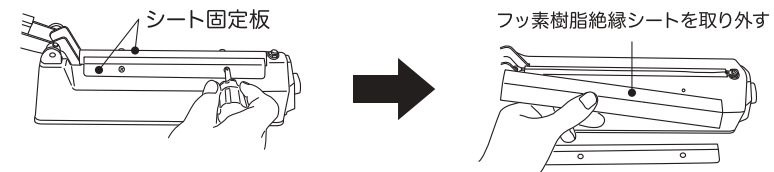
交換用部品は、裏表紙の交換用サプライ品を参照してください。

※フッ素樹脂絶縁粘着テープは、圧着側、シール側とも同じものを使用します。

■フッ素樹脂絶縁シートの交換

01. 左右のシート固定板ネジを外す

02. 古いフッ素樹脂絶縁シートを取り外す



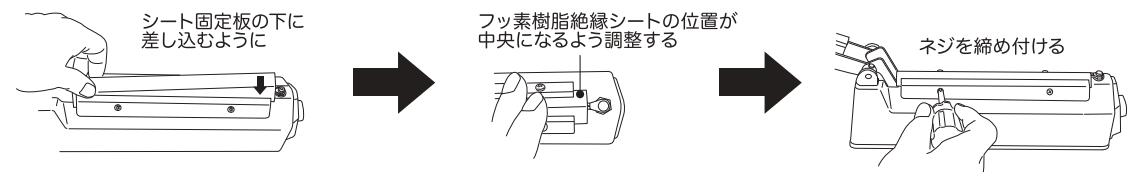
03. 片方のシート固定板をゆるく取り付け、新しいフッ素樹脂絶縁シートを差し込む

04. もう片方のシート固定板をゆるく取り付け、フッ素樹脂絶縁シートの位置を調節する

05. フッ素樹脂絶縁シートが中心にくるよう押さえながら、シート固定板ネジを締める

△注意

- ・シート表面にしわが出来ないように取り付けてください。
- ・ネジを強く締めすぎてネジ山を潰さないようにしてください。

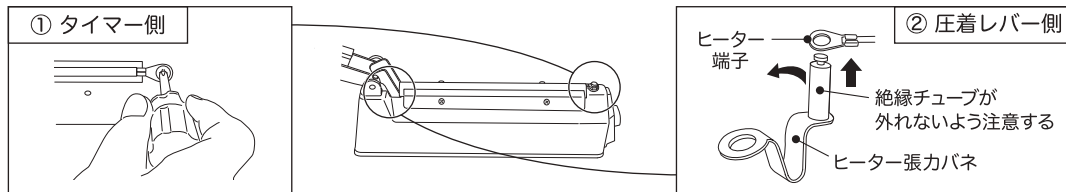


# 保守点検(その2)

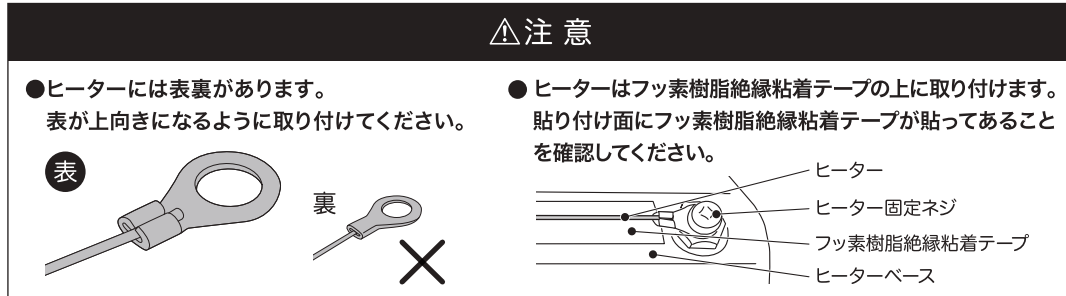
■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

## ■ヒーターの交換 NL-202JR の場合

01. シート固定板ネジを外して左右のシート固定板を外し、フッ素樹脂絶縁シートを取り外す
02. タイマー側のヒーター固定ネジを外して、ヒーターを取り外す  
圧着レバー側はヒーター張力バネで引っ張られているので、ヒーターを押さえながら外します。
03. ヒーター(圧着レバー側)を外す



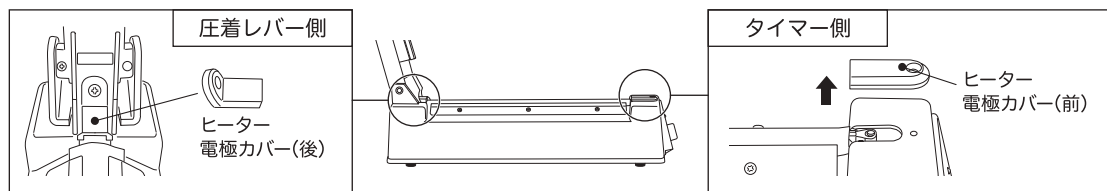
04. 圧着レバー側のヒーター張力バネに、新しいヒーターを引っ掛ける



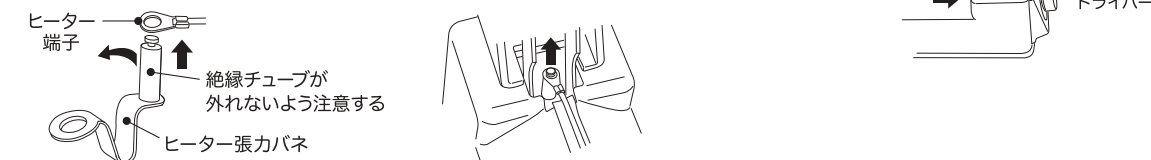
05. ヒーターを引っ張りながら、タイマー側のヒーターをヒーター固定ネジで取り付ける  
ヒーター張力バネのテンションに注意しながら取り付けます。
06. フッ素樹脂絶縁シートを取り付ける

## ■ヒーターの交換 NL-302JR の場合

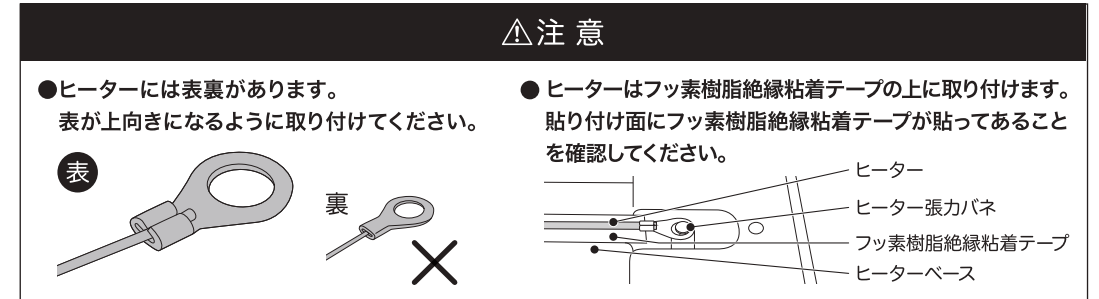
01. シート固定板ネジを外して左右のシート固定板を外し、フッ素樹脂絶縁シートを取り外す
02. ヒーター電極カバー(前・後)の固定ネジを外す



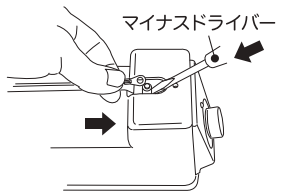
03. タイマー側のヒーター張力バネをマイナスドライバーなどで押しながら外す
04. 「03.」と同じように圧着レバー側のヒーターを外す



05. 圧着レバー側のヒーター張力バネに、新しいヒーターを引っ掛ける



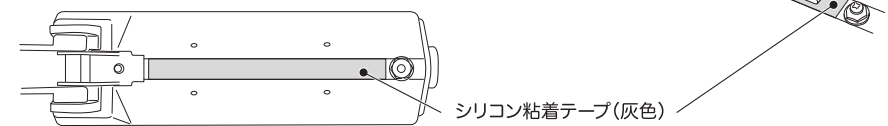
06. タイマー側のヒーター張力バネをマイナスドライバーなどで押しながら、ヒーターを引っ掛ける  
ヒーター張力バネのテンションに注意しながら取り付けます。



07. ヒーター電極カバー(前・後)をネジで固定する
08. フッ素樹脂絶縁シートを貼り付ける

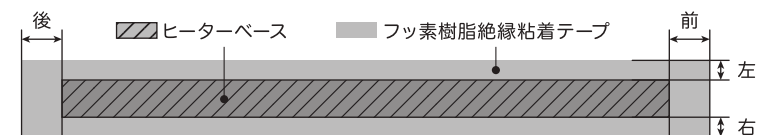
## ■フッ素樹脂絶縁粘着テープの交換

01. フッ素樹脂絶縁シートとヒーターを取り外す
02. フッ素樹脂絶縁粘着テープをはがす  
※シリコン粘着テープを剥がさないように注意してください。

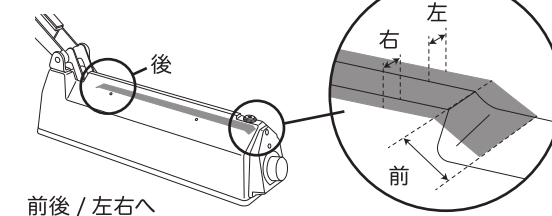


03. 新しいフッ素樹脂絶縁粘着テープを貼る

テープはヒーターベースから前後が均等にはみ出すよう余分を持たせて、幅方向は左右が均等にはみ出すよう合わせてください。ヒーターとヒーターベースが接触するとショート不良の原因になります。

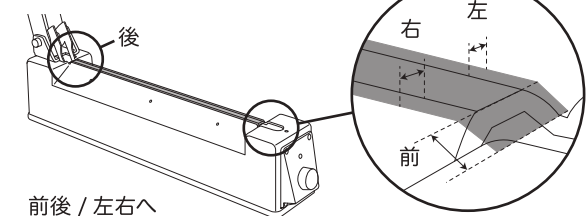


(NL-202JR の場合)



前後 / 左右へ  
それぞれ均等にはみ出す

(NL-302JR の場合)



前後 / 左右へ  
それぞれ均等にはみ出す

04. ヒーターとフッ素樹脂絶縁シートを取り付ける

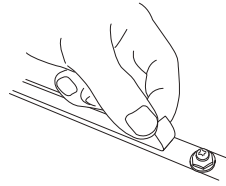
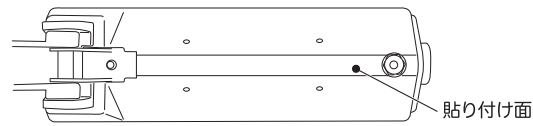
# 保守点検(その3)

## ■シリコン粘着テープの交換

01. フッ素樹脂絶縁シート、ヒーター、フッ素樹脂絶縁粘着テープを取り外す

02. シリコン粘着テープをはがす

※剥がした後、貼り付け面にノリが残っている場合は、きれいに取り除いてください。



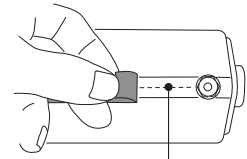
03. 新しいシリコン粘着テープを貼る

テープはヒーターベースから5mm以上はみ出すように余分を持たせて、幅方向は中心に合わせてください。

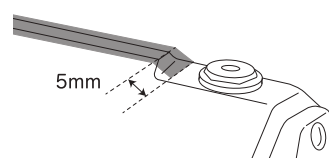
(全機種共通)

(NL-202JR の場合)

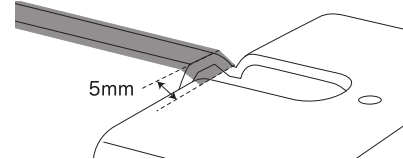
(NL-302JR の場合)



粘着テープの中心が本体ケースの中心になるように



前後ともに5mm以上の余分をもたせて貼る



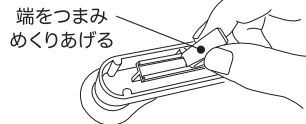
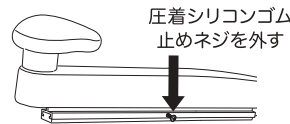
前後ともに5mm以上の余分をもたせて貼る

04. フッ素樹脂絶縁粘着テープ、ヒーター、フッ素樹脂絶縁シートを取り付ける

## ■圧着シリコンゴムの交換

01. 圧着シリコンゴムを取り外す

圧着シリコンゴム止めネジを外して、圧着シリコンゴムは端をめくりあげて外します。

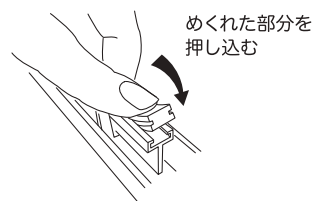


02. 新しい圧着シリコンゴムを取り付ける

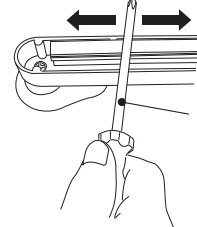
圧着板の溝部分に片方ずつ圧着シリコンゴスを差し込み、少しずつ押し込みます。

ドライバーなどを使用して圧着シリコンゴムの表面を力を入れてならします。

※圧着シリコンゴムの両端が圧着板の端部と同じ位置になるようにゴスを動かして調節してください。



めくれた部分を押し込む



ドライバー

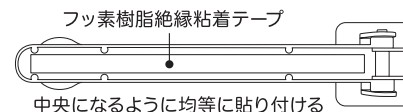
圧着シリコンゴムの表面を平らにならす

圧着シリコンゴスは両面使用できます。片面が消耗したら、裏返して使用してください。

03. 圧着シリコンゴスを固定する

圧着シリコンゴム止めネジを締めて固定します。

04. フッ素樹脂絶縁粘着テープを貼り付ける

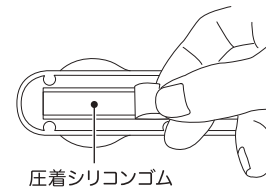


中央になるように均等に貼り付ける

## ■フッ素樹脂絶縁粘着テープ(圧着側)の交換

※シール側圧着側のフッ素樹脂絶縁粘着テープは同じものです。

01. 圧着シリコンゴムからフッ素樹脂絶縁粘着テープを剥がし取る



圧着シリコンゴム

02. 新しいフッ素樹脂粘着テープを均等に貼り付ける



中央になるように均等に貼り付ける

## 故障かな?と思ったら

電源コードを確認後、コンセントに差し込み下記の故障状況を確認してください。

部品交換を行うときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	圧着シリコンゴムの押し込みが通電しない	シールランプが切れる	シールランプが熱くならない	シールランプが点灯するが、ヒーターが熱くならない	ヒーターが断線しやすい	シールがきれいにできない	フィルムが溶断できない	原因・処置
電源コード	●							断線の場合は修理に出してください。
差込プラグ	●							プラグの根元を確認し、異常がある場合はお客様ご相談センターへご連絡ください。
タイマー	●	●						シールランプが点灯しない場合は、お客様ご相談センターへご連絡ください。
タイマー目盛り					●	●	●	シール時間を再度調整してください。
ヒーター				●	●			ヒーターの上下や、キズを確認してください。
フッ素樹脂絶縁粘着テープ				●	●		●	フッ素樹脂絶縁粘着テープを交換してください。
ヒーター張力バネ				●	●		●	ヒーター端子との接触部分を、ペーパーなどで磨くか、交換してください。
圧着シリコンゴム					●	●		キズ、へこみがあれば交換してください。
フッ素樹脂絶縁シート						●	●	汚れ、穴あきの場合は交換してください。
作業状態					●	●	●	作業間隔を長くとってください。
本体温度	●							異常に熱い場合、本体を冷ましてください。

※ 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理を行わないでください。